

白羽小学校区

「災害に強いまちづくり」

中原区

Q：大雨の際、側溝から水が溢れて民家に被害が出た。市の対策は。

A：近年の雨はゲリラ化していて、市内各所で大雨の被害がでている。今後市全体計画の中で見直していきたいと考えている。

中原区

Q：地震発生後、道路の機能が失われる可能性は大きく港は重要な交通の拠点となる。物資搬入のために御前崎港の岸壁を強固にする必要がある。また、港の被災状況が分からないと救援船は危険なため来航できず、物資の搬入が行えないようだ。被災状況などが外部の人にすぐに分かるよう市として対策を考えてほしい。

A：御前崎港は県営港。県が地震に備え第1バースの地震対策を行っている。県に連絡し状況の説明を広報おまえざきで行う。

中原区

Q：人命救助は早期発見が鍵。自主防災会が各戸を巡回するが、被災状況がわかりづらいと時間がかかる。早期対処できるように旗などを使って被災状況の程度がわかるようにしたらどうか。市で考えてもらえないか。

A：参考にさせてもらいたい。

「フリーテーマ」

白羽区

Q：浜岡地区と御前崎地区では公共施設の格差がある。今後どうしていこうと考えているか。

A：浜岡地区と御前崎地区の施設面の格差はある。限られた財源の中で御前崎地区を全て優先することは難しい。御前崎地区には合併後全戸にケーブルテレビを設置した。現在、学校施設の改修工事も積極的に行っている。これから下水道も整備していく予定。さらに、市道256号線（通称：たまねぎ道路）を拡幅し歩道付きの幹線道路にしようと考えている。近い将来、御前崎と浜岡が平等になるように努めていきたい。

白羽区

Q：公民館や地区センターの整備が遅れているので考えてほしい

A：新しくできた女岩コミュニティ防災センターは御前崎の方全員が使える施設として作った。浜岡地区の町内会にある小さな公民館は、市のわずかな補助をするだけで各地区の負担で建てられたもの。今の時代で各戸に経済的負担を強いることは難しい。各地区の避難施設という観点から耐震性の悪い公民館をどう整備していくか検討している。

新神子区

Q：平成19年度に150号線に水道管を敷設してもらったが、夏の暑さで水道水が熱かった。対応策はないか。

A：既に埋設された管から温かい水がでるのはおかしい。調査し報告する。
水道課で設計者などと調査したが原因不明だった。考えられることは、給水件数がなく水の流れが悪いためと考えられる。